



2025 年 7 月 15 日

各 位

会 社 名 株式会社くろがね工作所
代表者名 代表取締役社長 田中 成典
(コード：7997、東証スタンダード)
問合せ先 取締役経営管理本部長 森 吉武
(TEL. 06-6538-1010)

2025 年 11 月期第 2 四半期（中間期）業績予想と実績の差異及び通期業績予想の修正に関するお知らせ

2025 年 1 月 14 日に公表しました 2025 年 11 月期第 2 四半期（中間期）累計期間（2024 年 12 月 1 日～2025 年 5 月 31 日）の業績予想と、本日公表の同実績に下記のとおり差異が生じましたのでお知らせいたします。また、2025 年 11 月期通期（2024 年 12 月 1 日～2025 年 11 月 30 日）の業績予想を下記のとおり修正いたしましたのでお知らせいたします。

1. 2025 年 11 月期第 2 四半期（中間期）累計期間の業績予想数値と実績の差異 (2024 年 12 月 1 日～2025 年 5 月 31 日)

(連結業績)

単位：百万円

	連結売上高	連結営業利益	連結経常利益	親会社株主に 帰属する 中間純利益	1 株当たり 中間純利益
前回発表予想 (A)	3,553	40	45	30	17 円 61 銭
実 績 値 (B)	3,478	32	41	30	18 円 10 銭
増 減 額 (B－A)	△74	△7	△3	0	
増 減 率 (%)	△2.1	△19.2	△8.3	0.0	
(参考)前期第 2 四半期実績 (2024 年 11 月期第 2 四半期)	4,021	95	117	86	50 円 64 銭

(個別業績)

単位：百万円

	売上高	経常利益	中間純利益	1 株当たり 中間純利益
前回発表予想 (A)	3,550	35	20	11 円 74 銭
実 績 値 (B)	3,483	13	5	3 円 50 銭
増 減 額 (B－A)	△66	△21	△14	
増 減 率 (%)	△1.9	△60.1	△70.2	
(参考)前期第 2 四半期実績 (2024 年 11 月期第 2 四半期)	4,019	127	92	54 円 51 銭

2. 2025 年 11 月期通期業績予想数値の修正
(2024 年 12 月 1 日～2025 年 11 月 30 日)
(連結業績)

単位：百万円

	連結売上高	連結営業利益	連結経常利益	親会社株主に 帰属する 当期純利益	1 株当たり 当期純利益
前回発表予想 (A)	7,406	110	120	70	41 円 09 銭
今回修正予想 (B)	7,406	110	120	170	99 円 80 銭
増 減 額 (B－A)	0	0	0	100	
増 減 率 (%)	0.0	0.0	0.0	142.9	
(参考)前期実績 (2024 年 11 月期)	7,203	△27	19	209	122 円 92 銭

(個別業績)

単位：百万円

	売上高	経常利益	当期純利益	1 株当たり 当期純利益
前回発表予想 (A)	7,400	105	60	35 円 22 銭
今回修正予想 (B)	7,400	105	60	35 円 22 銭
増 減 額 (B－A)	0	0	0	
増 減 率 (%)	0.0	0.0	0.0	
(参考)前期実績 (2024 年 11 月期)	7,197	32	181	106 円 45 銭

3. 差異及び修正の理由

2025 年 11 月期第 2 四半期（中間期）の連結業績につきましては、売上面におきましては、売上高はほぼ計画通りの結果となりました。売上総利益につきましては、事務用家具部門においては原材料価格や円安による輸入製品価格のコストアップ分の販売価格への転嫁を引き続き進めるとともに、諸掛り等の付随費用の請求並びにコスト低減に取り組んだことにより粗利率が改善しましたが、建築付帯設備機器における受注後納入完了までに長期間を要する案件についての価格転嫁には依然として課題があり、さらに部品関係の調達コストが上昇したことにより計画を下回る状況で推移しました。また、販売費及び一般管理費につきましては、前中間期と比較して諸物価の高騰及び人員の増強に伴う人件費の増加がありましたが、当初計画を若干下回る状況で推移しました。その結果、営業利益は 8 百万円の減益となりました。

2025 年 11 月期の連結業績につきましては、当中間期までの業績状況等を踏まえ、売上高、営業利益、経常利益につきましては 2025 年 1 月 14 日に公表しました業績予想からの変更はありません。なお、親会社株主に帰属する当期純利益につきましては、2025 年 6 月 17 日に公表しました『関連会社株式追加取得に関するお知らせ』でお知らせしました当社関連会社である日本アキュライド株式会社の株式の取得に伴い、負ののれんが発生し、発生額については確定しておりませんが、特別利益として 100 百万円程度発生する見込みであることから増加する見込みであります。

(注) 上記記載の業績予想につきましては、発表日現在において入手可能な情報に基づき判断したものであり、実際の業績等は様々な要因により予想数値と異なる場合があります。

以 上